

### 資料3 外部専門評価について

評価項目 No. 20「内部統制の充実・強化、適切な事業評価の実施等」の「指標2：事業評価等における外部有識者意見の取込み」に記載した、各事業分野における外部専門評価の評価者リスト、評価者選定基準及び5段階評定基準は以下の通り。

●評価者リスト (※所属・役職名は2014年5月時点)

分野	氏名	所属・役職名
文化・芸術交流	樺山 紘一	印刷博物館館長 東京大学名誉教授
	市村 作知雄	東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科准教授 東京国際芸術祭ディレクター
	脇阪 紀行	朝日新聞論説委員
	降旗 高司郎	国際文化会館常務理事
	古畑 康雄	共同通信社国際局デスク
	及川 淳子	日本大学文理学部非常勤講師 法政大学客員学術研究員
日本語教育	迫田 久美子	国立国語研究所教授
	投野 由紀夫	東京外国語大学教授
	今井 新悟	筑波大学留学生センター教授
	浜田 麻里	京都教育大学国文学科教授
日本研究・知的交流	佐野 真由子	国際日本文化研究センター海外研究交流室准教授
	鈴木 佑司	法政大学法学部国際政治学科教授
	中西 寛	京都大学大学院法学研究科教授
	西川 恵	毎日新聞専門編集委員
	千野 境子	産経新聞客員論説委員 (元産経新聞論説委員長)
	渡辺 靖	慶応義塾大学教授
国際文化交流への理解及び参画の促進と支援	水野 孝昭	神田外語大学アジア言語学科教授
	島田 京子	横浜市芸術文化振興財団専務理事

## ●評価者選定基準

### 1. 専門性

専門評価者への委嘱対象とする当該事業分野において、創作、教育、研究、批評等の専門的な知見もしくは同等の実務経験を有し、当該事業分野の最新動向や人脈等に広く精通した専門家であること。

### 2. 共催者、助成対象者、事前評価者等の除外

評価対象事業について、依頼対象年度において共催者、助成受給者等であった専門家、及び事業の採否決定時に行う事前評価に関与した専門家への依頼は不可とする。

(具体例)

#### ●共催者等：

共催団体の代表者・会計担当者、当該事業の企画・実施に深く関わった専門家等

#### ●助成受給者等：

フェローシップ等、国際交流基金より直接助成を受給した者。また、助成団体の代表者、プロジェクト・ディレクター、会計担当者等

#### ●事前評価に関与した専門家：

事前評価を委嘱した選定委員、審査委員、コンサルタント等

### 3. その他の制限

#### (1) 同一人物への継続的依頼に関して

同一人物への依頼は最大限連続3年までとする。

#### (2) 過去に基金に所属した経歴のある人物への依頼について

過去に基金の役職員、専門員、嘱託その他基金に雇用された又は所属した経歴のある人物については、当該身分を離れた後8年以上経過していない場合には依頼できない。また、8年以上経過している場合も、当該人物が評価対象事業の企画立案に中心的な役割を果たした場合には、依頼を避けること。過去に基金に所属した経歴のある人物に依頼する場合は、もう一名の外部評価者は基金に所属した経歴の無い人物でなければならない。

#### (3) 外部評価者の選定上の制限

1件の自己評価書の外部評価者2名は、同一機関に所属する人物であってはならない。

### 4. その他

#### (1) 年齢、国籍等

年齢、国籍は問わない。ただしコメントシートを日本語で記述する能力を有すること。

#### (2) 過去の評価内容

過去に依頼したことがある場合には、過去の記述内容、分量等も考慮すること。過去の評価内容や分量が不十分だったことがある場合には、外部評価者としては不相当と判断することもありうる。

●5 段階評定基準

<p>イ 「特に優れている」</p>	<p>中期計画等の実施状況が当該事業年度において計画を大きく上回って順調であり、特に優れた実績を挙げている。</p> <p>総体として十分以上、または例年より際だって優れた業績をあげている。</p> <p>① 中期計画で示された定量指標を大幅に上回って達成している。 ② 定量指標以外の評価項目で特記すべき優れた事項がある。 ③ 改善を要するマイナス面は特に指摘されない。</p>
<p>ロ 「優れている」</p>	<p>中期計画等の実施状況が当該事業年度において計画を上回って順調であり、優れた実績を挙げている。</p> <p>総体としてプラス面が多い。</p> <p>① 中期計画で示された定量指標を上回って達成している。 ② 定量指標以外の評価項目で優れた事項がある。 ③ 改善を要するマイナス面は特に指摘されない。</p>
<p>ハ 「順調」</p>	<p>中期計画等の実施状況が当該事業年度において計画通り順調である。</p> <p>総体として順調と判断される。</p> <p>① 中期計画で示された定量指標等が達成されている。 ② それ以外の評価項目で計画通りの成果が得られている。 ③ 改善を要するマイナス面が軽微（外的要因等で達成できなかった等の対外的に合理的に説明できる理由がある場合を含む。）</p>
<p>ニ 「やや順調でない」</p>	<p>中期計画等の実施状況が当該事業年度において計画に対してやや順調でない。</p> <p>総体としてマイナス面が軽微。</p> <p>① 中期計画で示された定量指標は達成されていない ② 定量指標以外の評価項目は順調 ③ さらに効果をあげるための改善が求められる。</p>
<p>ホ 「順調でない」</p>	<p>中期計画等の実施状況が当該事業年度において順調でない。</p> <p>総体として肯定的に評価できない（マイナス面が目立つ）。</p> <p>① 中期計画で示された定量指標が達成されていない。 ② 定量指標以外の項目でマイナス面が多い。 ③ 事業の存廃または実施体制に係る見直しが必要とされるレベル。</p>